

kanagawa

2010.4.VOL.342

コンテンツ

- 建築探訪（県西ブロック）
- 三井杉田台自治会館建設デザインコンペティション
- 関東甲信越ブロック会議報告
- 支部長合同ブロック支部委員会 開催報告
- 『かながわの木を知ろう』見学会 開催報告
- 大成建設技術センター見学会 開催報告
- 神奈川芸術劇場見学会 開催報告
- 改正省エネ法講習会 開催報告
- 会員建築作品紹介
- 歴史的建造物～大磯町 旧吉田茂邸～
- シリーズ木造住宅の知識（6）
- シリーズ名経営者の建築と風水（4）
- 支部便り（中ブロック）
- 神事協 歌壇・俳壇
- 賛助会施設見学会報告



HP情報

- 地域木造住宅市場活性化推進事業の公募（平成22年度）について
- 平成22年度「日事連建築賞」募集開始



社団法人 神奈川県建築士事務所協会

URL <http://www.j-kana.or.jp/>

E-mail info@j-kana.or.jp

建築探訪

前衛なるもの：古河総合公園 飲食施設

県西支部 松井 正

建物データ

所在地：茨城県古河市

平屋建て

建築面積及び延べ面積 262.08㎡

設計者：SANAA

例えば柱について考えてみる。

スタンディングストーンから始まり、伊勢神宮の棟持柱、浄土寺浄土堂の4本の柱、近代ではミースの十字形柱、白井晟一の象徴的な柱、篠原一男の抽象的な柱等、多くの重要な位置づけの柱が存在してきたが「古河総合公園 飲食施設」の柱も興味深い。

公園という恵まれた場に建つこの建築の特徴は、非常に細く白いφ65mmの約100本の柱がまるで周囲に呼応するかのように林立する様は、柱が構造上主要な部材という事を忘れ、まるでデジャブーのような既視感を醸し出しながら立つ。

室内のカフェの天井の高さも3m近くあるのも圧迫感がなく良いバランスに感じた。

構造的な方へ視点を移すとこの柱は厚さ270mmのマットスラブからの片持ち柱で自立させており、非常に薄い屋根スラブ(30mm)とはH.T.Bでピン接合されている鉄板構造である。

柱の役目はあくまでも鉛直荷重だけを支えて、水平力に関してはこの建築をより面白くしている四枚のパネル(1260×78)で受けるようになっている。このパネルは水平力を負担する以上に、自然を映し出す装置としても活躍する。そこにいる自分自身の姿でさえもいつの間にか映り込まされ、見る・見られるという関係が逆転し、自分がこの不思議な空間の一役を担わされている事に気付かされる。

しばらく時間を過ごしているとランダムにバラ撒かれたように見える柱群も、実は柱の位置を決定させる等のモジュールが存在することが認識でき緻密な計算を伺い知る事が推測出来る。

例えば抽象化について考えてみる。

一例として日本の数寄屋空間。

茶室で考えてみると削ぎ落とされた極小の空間の中に辛うじて素材の役割を残す。

それに対して西洋では特にコルビュジェを例にとると幾何学的空間のものと光を変換させる抽象性がある。

「古河総合公園 飲食施設」では単純な幾何学の中に浮遊しているかのごとく佇む薄い屋根と無重力のような柱群が本来の意味を消去させ抽象化した概念の中で二つが新たな風景化を目指しているように感じる。

ここには西洋的である抽象と同時に半屋外的な空間が室内空間よりも大きく設けてる事で起こる内と外というヒエラルキーをはずしたり、スライディングドアを開けることで外部と一体になる空間構成はSANAAが時より見せる数寄屋的な抽象空間に感じられた。

またガラスに貼られている葉のパターンの模様もこの公園の場所性を抽象化させている様にも感じられた。

その一方で壁面に使われているガラスは合わせガラスや防犯ガラスでもなく意外にも強化ガラスを利用しており、防犯上は非常にリスクの大きい計画であったり、またそこで最も長く生活する働く人の動線や使い勝手を考えると疑問に感じる事が少なからずあるのも否めない。

しかしここで実現された空間がこれ以降の最新のSANAA自身の作品だけでなく、最近の斬新な他の建築家が手掛けた作品に与えた功績は多く、非常に見応えのある建築であった。*SANAAは2010年プリツカー建築賞(建築界のノーベル賞とも呼ばれるほど権威のある賞)を受賞されています。



表紙のことば

坂倉事務所OBの事務所に勤務していたので昨年開催された没後40年の様々なイベントに参加させていただきました。それ以来、今まで以上に坂倉建築の懐の深さに感銘を受けるとともにその背後に見え隠れするコルの偉大さに改めて魅了されています。

三井杉田台自治会は、戦後日本の高度経済成長を支えた根岸湾埋立地京浜工業地帯の一派を担う磯子区の小高い丘に昭和30年代以降に形成された閑静な住宅地です。「地域生活環境と資産価値向上」を目指し建築協定を結ぶなど、地域街づくりに熱心な自治会です。現在は高齢化が進む一方、小学生以下の子供をもつ家庭も増えている将来性豊かな街です。

- ・自治会の活動に理解がある。
- ・憩いの場のづくり方やエコロジーのつくりに対する見識や熱心な姿勢がある。
- ・自治会の意見を広く取り入れようとする柔軟な姿勢があった。

自分の計画案に固執せず、相手の気持ちを和らげた話し方がよかったようです。

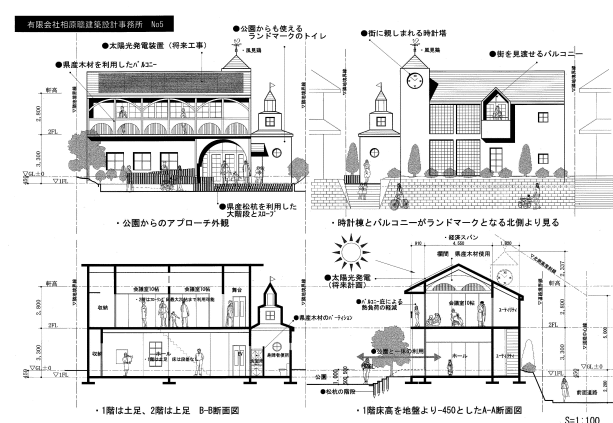
コンペの運営については今後も研究が必要ですが、とりあえず納得して選定していただいたのはよかったと思います。

私が事務所を設立後、初めて得た仕事であるお寺の会館を7年の月日に耐え、粘り強く設計した経験が生きたのかもしれませんが。あの時と同じ気持ちで自治会館の設計に臨みたいと思います。

主な理由は、公平な事業者選定を求められる地域団体にとって、社団法人神事協が主催する神奈川県産木材の利用を目的とする「住緑家」コンペ事業は、設計者選定のシステムとして有効な手段であります。また、自治会館等建設に関しては、国や地方公共団体の補助金を利用することが多いため、設計業務として公正な手続きを要します。バリアフリー、太陽光発電装置など環境に配慮した設備機器に関する補助制度の公正な情報収集や書類の作成に、設計事務所の役割が求められているからです。

早速始まった三井杉田台自治会との打合せでも、補助金の情報収集に期待が高まっております。

今後も市民との対話の中で「住緑家」コンペ事業が更なる発展をするように努力したいと思います。最後に、このたびのコンペの企画・運営を担当された委員の方々、参加された登録事務所の方々に感謝申し上げます。



第6回(社)神奈川県建築士事務所協会 委員長会報告

開催日時：平成22年3月11日（木）
会 場：(社)神奈川県建築士事務所協会 2F会議室
出席者：12名出席 事務局2名 計14名

○各委員会報告

【総財務委員会】

- *入会者への日事連バッジ進呈について22年度予算に計上。
- *次回の賀詞交歓会も三回合同となる可能性が高いため、予算上、科目を残す。
- *現会員証の有効期限が来年3月までのため、同時期に会員証の発行を行う。
(顔写真入か検討)
- *新公益法人制度に関する専門委員会を設置する方向で検討。
- *会員の休会に関して、協会定款施行細則第2章第6条の2と第3章第9条の2の整合性を図るべく検討を行なう。

【技術調査委員会】

- *工事監理ガイドラインについては、鉄骨工事まで精査した。
- *特記仕様書の改訂については「JIA作成のものを参考にしてはどうか」との意見あり。
- *構造標準図の改訂については次回委員会時に小規模鉄骨造標準図の修正案を検討予定。
- *4月21日（水）に自立循環型住宅設計講習会を開催予定。
- *まちづくりに関して専門委員会を設置する方向で検討する。

【企画業務委員会】

- *インターンシップについて、当会の協力事務所は6社となった。
- *3月1日（月）に新規開設講習会を開催した。参加者に対し、入会案内等を配布するなどの会員増強活動を行なった。
- *告示15号に基づく業務報酬基準について、神奈川版の作成を検討する。

【広報情報委員会】

- *会報kanagawaについて、誌面構成及び表紙デ

ザインを5月号より変更することを検討中。

- *協会ホームページについて、内容を検証し改善を図る。

【ブロック支部委員会】

- *一般向け入会募集チラシの作成について、内容の検討を行ない次回委員会にて最終決定し印刷する予定。
- *会員増強企画案について、各支部10%の増強を目標とする。
- *セカンドオピニオン機能については別途、検討会もしくは専門員会の設置を検討する。

【設計監理指導委員会】

- *調査鑑定研修会を2月9日（火）に情文ホールにて実施。
当日出席者数：97名（94社）
※内、会員外1名（1社）
登録申請社数：68社（3月11日現在）
4月1日追加研修会申込社数：15社（3月11日現在）
- *神奈川県版紛争マニュアル作成については誌面の編成を決め、項目ごとに担当委員を割振り検討する。
- *4月8日（木）に一級建築士で弁護士である富田裕氏を招いての神事協サロンを開催。

【「住・緑・家」運営特別委員会】

- *三井杉田台自治会館建設コンペについては、大和綾瀬支部（有）相原聰建築設計事務所に決定。
- *品濃・白幡神社の設計者募集については、応募者の名簿11社を2月22日に神社側へ提出。
- *かながわの木を知ろう見学会を2月24日（水）に実施した。参加者36名。

【木造特別委員会】

- *かながわ県民センターにて1月7日（木）と18日（月）に行なわれた県木造住宅耐震講習会の相談業務に委員を派遣した。
- *各市町村における耐震診断補助基準についての現状を調査し、委員会として一般診断等の統一化を各市町村に要望を行う。

※詳細は当協会ホームページをご覧ください。

神事協ウォーキング 開催のお知らせ

下記日程において神事協ウォーキングを開催致します。
今回は横浜開港歴史コースと題し、外人墓地、港の見える丘公園からみなとみらい地区方面（約9km）を巡ります。
皆様の参加をお待ちしております。

記

開催日：平成22年5月16日（日）
集合場所：JR石川町駅 元町口出口 9：30
（横浜駅東口にて13：00頃解散予定）

詳細については同封の別紙ご案内をご覧ください。



関ブロ便り

第 120 回 関東甲信越ブロック協議会

副会長 芝 京子

22年度3回目の関ブロ協議会が、去る2月26日(社)日本建築士事務所協会連合会の会議室にて執り行われました。今更とは思いますがこの協議会のことを少しお話させていただきます。

まず構成は、茨城・栃木・群馬・埼玉・千葉・神奈川・新潟・長野・山梨・東京の以上1都9県の単位会での組織です。21年度は、東京会が担当会となっております。ちなみに20年度は神奈川会、22年度は長野会が担当会です。

出席者は、連合会会長・専務理事・常務理事。単位会は、会長・副会長・専務理事・事務局長・事務局・東京会(担当会)は常任相談役の方も出席されています。総出席者は41名になり、会議室はいっぱいになってしまいます。

会議の内容は、日事連活動状況の報告、これは直近の理事会(2月19日)・各委員会の活動が委員長によって発表されます。今回は、「建築確認手続き等の運用改善の方針について」1月22日国交省よ

りのプレス発表を日事連が取りまとめたパブリックコメント(1月23日～2月21日)として提出した意見書についての説明がありました。

その他、日事連で検討中の「建築設計・工事監理に関する業を担う観点からの提案」の状況報告、建築基本法構想の動向について等の議事と、協議事項平成22・23年度の役員候補者の選出。そして、最終案件として日事連への要望を当神奈川会から提出いたしました。神事協における会員増強運動を展開する中、バッジやニューバージョンのNF書式を新入会員及び会員の手元にとの願いの中、特別価格での提供の希望です。良い結果が出来ますように・・・。

全国会長会議、関ブロ協議会等出席させていたでいておりますが、タイムリーな国の情報がいただけます。今後も会員の皆様にお知らせさせていただきたいと思います。

支部長合同ブロック支部委員会 開催報告

ブロック支部委員会 副委員長 平山 正義

ちょっと前になりますが、2月19日に移動支部長合同ブロック支部委員会が、MMの入り口にある「日本丸訓練センター第一教室」で開催されました。正副会長3名、ブロック支部委員8名全員、支部長9名、横浜支部より神事協理事を含む8名の合計29名と大勢での会議となりました。

各種報告の後、企画業務委員会より支部の特徴ある(知らしめたい?)街並みや風景、見所などをB5版の用紙に表紙・地図・写真で構成した「街並み散策マップ」作成の依頼がありました。皆様積極的に御協力下さい。

議題は、①21年度の会員増強・退会防止の成果が純増1名であり、さらなる協力をお願いした。②新入会員の待遇については、入会式を行うことの申し合わせがあり、バッジ・手帳・会員証ケース・持ち歩ける各種規程・業務書式モデル集を手渡すことにした。③会員増強策についての意見交換を行った。本会としての取り組みとして、非会員事務所の訪問、非会員のネットワーク化、講習会での受付を会員・非会員で分ける、「住・緑・家」コンペの非会員への開放(今後検討)等様々な検討課題を紹介した。その後、各支部から、耐震診断への協力・講習会の開催・お祭りへの参加や相談業務の展開等活発な支部活動の近況報告がなされた。

会議終了後、港の見える素敵なレストランへ移

動し、賛助会3社の方を交え、元気一杯懇親を深めました。さらに、二次会を明け方まで続けたつわものもいたようです。



Town View

～東京スカイツリー～

3月末には東京タワーより高くなりました。(338m)



撮影日：平成22年3月30日(火)

撮影場所：浅草雷門前より

(写真右の方にスカイツリー)

かながわの木を知ろう!!見学会 開催報告

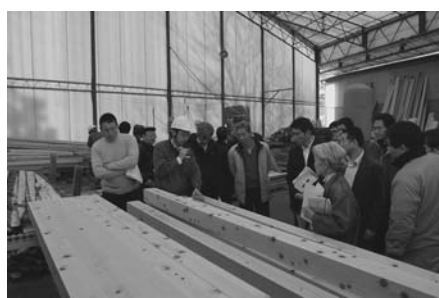
「住・緑・家」運営特別委員会 古木 賢治

去る、2月24日(水)「住・緑・家」の見学会が、開催されました。かながわ県産木材を訪ね、森林、原木市場、製材工場を見学するコースで、朝8時に横浜駅に集合しました。今回は、参加者が多く、大型バスもほぼ満席状態でした。

最初に、足柄上郡松田町にある「やどりき水源林」を見学し、その後、県森連林業センターへ向かいました。ここは、県産材の原木が持ち込まれ、製材業者の方が買って行かれる原木市場です。午後から、製材を行っている市川屋の工場で、県産材をグレーディングマシンで、含水率とヤング率を調べ、県産材にその数値を印字される状況を見学致しました。つぎに、厚木市七沢にある私立七沢希望の丘初等学校を見学。この建物は、

平成21年度第54回神奈川建築コンクール最優秀賞作品に選ばれ、県産材をふんだんに使用した小学校です。

その後、市川屋のストック場及び、吉岡木材へ行き、見学会は無事終了。県産材の原木がどのような流れで、製品になって行くのか、製材、乾燥、加工、在庫状況などを見学することができました。また、多くの参加者により、今後の「住・緑・家」にも期待がもてる見学会となりました。



4

「大成建設(株)技術センター」見学会 開催報告

企画業務委員会 委員長 棕 茂廣

事務所協会の為に3月4日(14名)9日(19名)の二回受け入れて頂き、「大成建設(株)技術センター」様に大変感謝いたします。

東戸塚駅13時50分、参加者全員時間どおり集合し「センター」の循環バスに乗り10分程度で見晴らしの良い管理研究棟に到着し、研究所全体と先端技術の概略を酒井技術室長よりビデオにて説明して頂き、研究所内は黒河主任に案内して頂きました。尚、この研究所は建築、土木、材料、環境等の総合研究所となっており、管理研究棟の他情報管理棟、構造実験棟、環境実験棟、水理実験棟等を含め8棟の実験棟で構成されております。

主な見学コースは管理研究棟で、最初は3階、4階部分のカーテンウォール部分の、省エネ性能を高めるために開発したT-Facade Air(日射遮蔽性能の高いダブルスキンシステムを薄型化、ユニット化したシステム)や、床吹出空調システム(通気性カーペットを敷き込み床面より微風速で吹き出す空調方式)又、ダクトル(超高強度繊維補強コン

クリート200N/mm²)の化粧PC版を設置した空間、最後は地下部分のTASS構法(すべり支承と積層ゴム支承を併用した免震構法)の免震構造を見ることができました。

ちょっと、気になったのは、バーチャルリアリティシステム(3Dシステム)でした。建物内部を疑似体験できる部屋では、この研究所のエントランス部分やホテルのエントランス部分を映像化し仕上げ材の選択、空調、音響等に利用した事例を見させて頂きました。将来のプレゼンテーションはおそらくこうなるのではないかと思います。

その後は各実験棟の見学をさせて頂き、さすがスーパゼネコンの研究所と思い帰路につきました。その後は懇親会と反省会を少人数で行って解散しました。ちなみに9日の天候は雪でした。



現場見学会：「神奈川芸術劇場+NHK横浜支局ビル」見学会

川崎支部 恩田 耕爾

主催：神奈川県建築事務所協会川崎支部企画部
建築概要

設計・監理：香山・アプル総合・アプルデザイン設計共同体

施工：鹿島建設 横浜支店

工期：2007年12月～2010年7月

主要用途：劇場・事務所・駐車場

延べ床面積：24000㎡

軒高：49m

工作物：アンテナタワー

現場からの要請で15名限度の見学会を予定しましたが、事務所の皆さん、期末でお忙しいようで7名参加での見学会となりました。始めに設計者（香山事務所）からの設計概要、現場本郷所長からの工事概要等の説明を受け、現場内に入りました。アトリウム屋根架け工事が始まった段階でほぼ建築全形は見られるような状況でした。見所は地下の免震構造（免震ゴム、ダンパー）、ホール、スタジオ、アトリウムなどあります。設計者からは避難安全検証法を活用した法令クリアの話、現場からは、構造、遮音（チャンパー）関連のお話ができました。工作物のアンテナタワーは電波の関係から横浜港のマリンタワーと同じ高さになっているようです。大スタジオ、中スタジオ、小スタジオ等あり練習も出来るよ

うです。舞台裏に設備された7.5×3mの油圧EVに乗って上階に移動する時はあまりに動きが遅いので不安を感じましたが、所長がEV天井の点検口の部分に懐中電灯で光を当てると動きがゆっくり見え、皆さん一安心です。ビルが完成すると演劇・ミュージカルから歌舞伎も出来る魅力的な場所となるようです。松沢県知事も少し前に現場見学をされ、大いに完成を期待しているところと思います。ここは昔、明治の頃、西洋建築の「英一番館」ビルがあったところから200mほど奥に入ったところ。完成すると、平成の時代に再び、人々の文化とお祭り広場が完成し、賑わいが取り戻せるような予感がします。港の大桟橋に世界の大型客船(10万トンクラス)が着岸し、そこから歩いて日本文化を観劇できると素晴らしいなと感じました。それにはベイブリッジの改修（高さ）及び港の浚渫（深さ）などが実現しないと無理かなとは思っています。最後に今回の見学会にあたって、鹿島建設横浜支店のご理解と現場のご協力に感謝したいと思います。ありがとうございました。



5

改正省エネ法についての講習会 開催報告

企画業務委員会 委員長 棕 茂廣

省エネ法の改正により、4月1日より床面積の合計が300㎡以上の建築物について、新築・増改築・修繕時における省エネ処置の届出及び維持保全の状況の報告が義務づけられています。又、年間150戸以上分譲の住宅事業建築主が対象となっております。

講習会の内容は、神奈川県県土整備部建築指導課の斎藤氏に届出方法・記載方法及び届出先の説明をして頂いたが、特に神奈川方式と言うようなものは無さそうでした。省エネ性能評価につい



ては、(株)設備設計二十一の桑田講師に説明して頂き、住宅については、(株)環境設計の小後摩講師に説明して頂いた。参考資料が4冊ある講習なの

で、通常2日必要と言われたのですが、講師の方には無理をお願いし1日講習にして頂いたため、短時間での集中講義となりました。

現行の評価基準では性能基準（PAL/CEC）・ポイント法の二種類でしたが、改正制度では評価基準に2000㎡以下であると簡易ポイント法を選択することができるようになり、三方式となりました。

又、2000㎡以上の建築物を「第一種特定建築物」、それ以外を「第二種特定建築物」（300㎡以上2000㎡未満）と区分し、用途・規模により、届出対象行為・届出内容・判断基準・担保処置・定期報告等が異なっております。提出期間は工事着手予定日の21日前までとなっておりますので注意が必要です。

設備設計にかかわるものが多く、意匠設計者にとって扱いづらいところがあるため、改めて評価法だけでも講習会を開く必要があるのではと感じました。

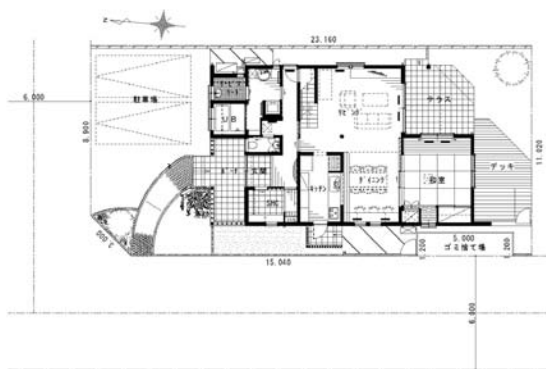
会員建築作品紹介

家族を育む木の家 K邸

横浜支部 一級建築士事務所 A & A 設計室 雨森 隆子

■基本DETA

所在：埼玉県吉川市
 用途：個人住宅 家族構成：夫婦＋子ども2人
 地域・地区：第1種中高層住専地域（防火指定なし）
 吉川駅南地区地区計画
 建ぺい率41.91%（許容60%）
 容積率 64.71%（許容150%）
 道路：北・西面 6.0m 駐車台数：2台
 敷地面積：246.98㎡（北西角地）
 建築面積：103.51㎡ 延床面積：159.82㎡
 （1階床面積：95.23㎡ 2階床面積：64.59㎡）
 構造・階数：木造（在来軸組工法）2階



外部仕上げ

屋根：石州防災平瓦 一部ガルバリウム鋼板葺
 外壁：モルタル下地吹付塗装 一部桧板張り
 外断熱（遮熱材＋断熱材）
 次世代省エネルギー基準クリア：気密度
 $(0.93 \text{ cm}^2/\text{m}^2 < 5.0 \text{ cm}^2/\text{m}^2)$

内部仕上げ

床：桧・ナラ・杉無垢フローリング
 壁：珪藻土塗壁・水性ペイント・杉板張り
 天井：珪藻土塗・モミ板・杉板張り・水性ペイント
 設備：電化住宅・土壌蓄熱床暖房



J R 吉川駅近く、北西の角地で、間口11M、奥行23Mと細長い敷地。西南にゴミ集積場があり、立地条件は、良いとは言えません。西側は、夏の西日によるゴミ集積場からの臭気、捨てて来る人の視線などを考え、開口部を少なくし、一部通気のある目隠しを設置。ご両親の訪問を考慮し、1階にパブリックスペース、2階をプライベートスペースとしました。奥様の希望や家事動線から、西側に対面式のキッチンと勝手口。



家のシンボルとして、居間に桧の大黒柱。子ども達の成長記録を残してほしいものです。居間、食堂が20帖の広さになることから、天井高は梁下で2700。梁をデザイン的に見せるため、梁の本数を多くし、梁成を小さくしました。手刻みにこだわり、松、桧、杉などふんだんに無垢材を使った木の家で、のびのび子育てを楽しんで頂けることでしょう。

北側ファサードは、小窓の縦格子、玄関戸、2.5坪のポーチ廻りの格子と、木を生かしたデザインです。広いポーチは、子ども達の遊び場、自転車置き場、観葉植物、テーブル、ベンチなどを置き、家族や近所付き合いなどコミュニケーションの場になってほしいと思っています。



2階は、ファミリールームを中心に、夫婦の寝室（和室）と将来、仕切れるロフト付きの洋間があります。ご主人希望の書斎と収納たっぷりの納戸。ファミリールームは、小屋組が見える開放性の高い空間で、家族や子どもたちの友達が集まる心地よい場になることを想定しています。内部建具は、全て造作（杉材）で、水周り2階の戸には、ステンドグラスを入れ、ステンドグラスからの光を楽しみ、家族の気配が感じられる空間になっています。施主の一番の希望であった頑丈で、暖かい家になりました。

建物利活用について

旧吉田茂邸は、2009年3月22日AM6：00ごろ出火し、惜しむなく邸宅は全焼。周囲の樹木にも延焼したが、ケガ人はいないということです。普段は火の気がないことから、不審火の可能性もあると大磯町消防本部ではみています。

旧吉田邸は敷地全体を県立都市公園として整備する矢先のことでした。建物部分は大磯町が県の許可を得て管理運営を図る方向性が打ち出されております。建物については、心字池のある日本庭園に面した部分と「金の間」や「銀の間」を含む吉田五十八氏が手がけた本邸及び新館部分は兜門から入って心字池のある日本庭園から眺めた時に、庭園と一体となった佇まいの秀麗さに魅力があります。

この建物と庭の利用計画としては、母屋を使用目的に合わせて3つの区域にゾーニングし、それぞれの目的に応じた活用の方向性が検討されています。

1) 歴史的建造物・地域貴賓館ゾーン

1階客間、食堂、温室、2階居間及び寝室部分を、見学ゾーンとして

2) 県民利用・休息ゾーン

戦前の建物部分である旧邸部分は県民利用
施設や休息施設としての活用

3) 事務管理ゾーン

上1) 2) の中間に位置する建物中央部分の
事務管理スペースとしての活用

また、その他庭園整備では、松林の再生、バラ園の再生、古道の整備などです。

県が主体となって、焼失前の旧吉田邸の姿を実現可能な範囲で再建することが成就され

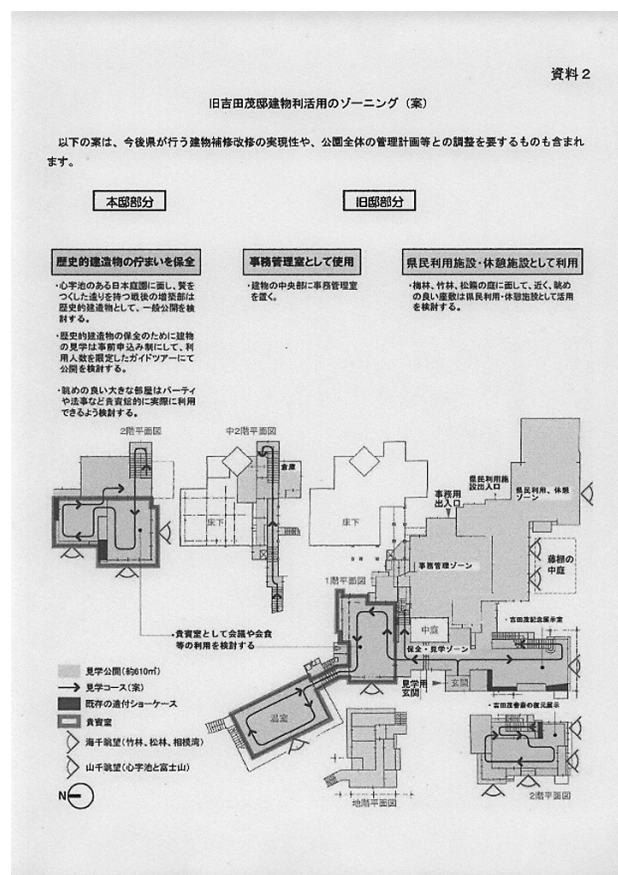
た暁には、この建物が県立都市公園の最重要建築物となるばかりではなく、大磯町民にとっても町の魅力をたかめる重要な拠点になるという風に町ではうたっております。

再建費用についても全国に寄付金を呼びかけております。

建物及び寄付についての問い合わせは
大磯町都市計画課まで

TEL. 0463-61-4100

FAX. 0463-61-1991



知って得する木造住宅の知識 (6)

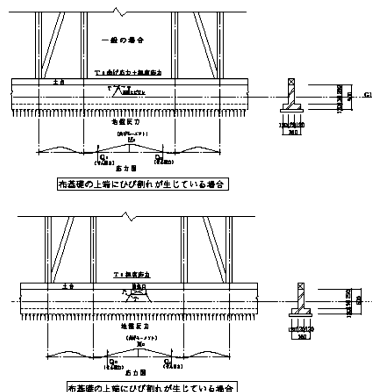
基礎コンクリートのひび割れについて

大和綾瀬支部 高橋 国彦

基礎コンクリートのひび割れが何故起こるのかについてはいろいろな原因が考えられるが、現実生じている状態から検討してみたい。

基礎の上端のひび割れの原因

- ・ 曲げモーメントの張力による
- ・ 温度による線膨張ひずみ引長力による
- ・ 地盤沈下による二次応力による



木造住宅の場合、基礎工事は通称「基礎屋」の職人に外注するが多い。木造住宅の基礎は、鉄筋コンクリート造であっても、鉄筋コンクリートの仕様規定は適用されず木造建物基礎として、形状、鉄筋径、ピッチの仕様が(平成12年建告第1347号第1)に規定されている。

新耐震以前の基礎コンクリートは品質管理等もあまく、基準強度、水セメント比(W/C)等の記録もなく、工事が行われているケースが多い。

コンクリートの強度、耐久性は水セメント比(W/C)、使用水量等に大きく依存する。

その他、打設時の温度、気象条件等により品質も影響を受ける。

1) 一般の場合、柱間の上端にひび割れが生じているが、この場合は基礎梁上端に生じた曲げ応力と軸方向の温度応力が重なって起きたものと考えられる。

① 曲げによる上端の引張応力 F_t は

反力 $W = 0.7t/m$ (住宅荷重)

$M_0 = 2960 N \cdot cm$ $Z = 12 \times 50^2 / 6 = 5 \times 10^3$

$F_t = 2960 / 5 \times 10^3 = 0.59 N/mm^2 < 0.60 N/mm^2$ ($F_c = 18$ の場合)

無筋コンクリートの場合、許容引張応力を許容圧縮力の10%と仮定すると基礎梁にひび割れが生じる。

② 温度応力の場合

温度ひずみ $C = 1.0 \times 10^{-5} / ^\circ C$ (線膨張係数)

温度変化は40度 (夏の昼夜の温度差)

基礎一辺の長さ $l = 910 cm$

$S = l \times C \times 40$

$= 910 \times 1.0 \times 10^{-5} \times 40$

$= 0.36 cm$

$= 3.6 mm$

2) 図の換気開口の場合は、ひび割れの状態から曲げ+温度等によるものであるか否かの検討より判定する。

無筋コンクリートの補修はひび割れの状態や荷重負担状態、応力状態、施工性等の原因を考慮して対処することが大切である。

尚、低強度コンクリート、 $F_c = 13.5 N/mm^2$ を下回るような場合は応力の伝達が不十分である基礎を交換する必要性が生じる。

シリーズ 名経営者の建築と風水 (4)

《苦米地英人さんに学ぶ》

県西支部 稲葉 勉

今回は最近の名経営にスポットをあててみました。皆さんは苦米地英人氏をご存じだろうか、この先生の考え方はとてもおもしろいのでご紹介したいと思います。脳機能学者である彼は、世界的肩書きを多数持ち、有名なのはマッキントッシュの日本語入力ソフト「ことえり」の他、数多くのソフトの開発者でもあります。また、三菱地所のスタッフとしてロックフェラー・センター買収の中心メンバーとしてかわる他、オウムの洗脳を解くために公安から依頼を受けたり、他にも様々な開発で国から国家予算をもらえる程の名経営者です。

彼の著書を読んですっかりファンになっていた私は、友達の作家(Tランディー氏)に「この人すごいよ」と昨年の夏にその著書を紹介して、「会いたいなあ」と夢を話していました。すると・早くも今年の1月8日にその機会に恵まれたのです。

今号は、その時お会いして実際お話しした内容と、彼の本の著書から「風水に係る文書」を抜き出してみました。

1. 現代の東京駅と皇居の風水

道教でいうところの入口、東京駅が朱雀で奥に当たる皇居が玄武、右となる青龍が新丸ビルで、左が白虎で丸ビルがある。つまり道家でいう風水、朱雀、玄武、青龍、白虎を考えた街づくり、巨大な風水空間になっているのだ。実際に今でも東京駅と皇居を結ぶ行幸道路があり、東京駅の丸の内側には皇居専用出入口がある。あの行幸道路は朱雀と玄武を繋ぐ線になっているのだ。

2. オフィス風水

苦米地先生は自分のオフィスなども「こっちが青龍だからここから抜けて、あっちは白虎だからこういう配置にしてね・・・」と自ら風水を鑑定し実用している。

おもしろい事に、苦米地先生は風水において彼独自の発想を持っているようだ。

それは「一般の風水は、風と水があるが『火』についての発想が無い」というのが彼独自の発想で、おそらく彼の言う「火」とはエネルギーやパワーの塊の動きを表しているのではないだろうか。これはヨガ行者の瞑想の「印」に匹敵するすばらしい発想だ。

3. 脳や家に音を聞かせるという風水

そして、自宅での風水としては、今彼が開発しているさまざまな特殊音源CDを自宅で聴く、聴きながら自宅

でリラックスする事により運を呼び込むといった、生物の五感をフルに使った現代版風水思想なのだと思う。

さらに「部屋にも音を聴かせる事」により音と部屋と自分に臨場空間をもたらす事により潜在意識にも否応がなしに働きが起こる。

そこで自分自身の体験の中から「良かった時の感覚」を思い出してみる。

このようにして臨場空間をもたらす事で、自分の運を自身の潜在意識が支配できるようになる。

何も、大地や川や空の動きだけを取り入れたものだけが風水ではなく、これは、安心して生活できる現代になったからこそ、新しい「人的」風水学なのではないだろうか。この事は現代の家づくりにも多く取り入れる大切な要素かと思う。

終わりに>

しかし、彼は、現代のスピリチュアルブーム・現代風水・占いには気をつけなければいけないという事も言っている。それはマスコミや営利目的で近寄ってくる人間が「ウケればいい」「視聴率さえ取ればいい」「儲かればいい」的な発想で広めている事が多く、それには洗脳があり注意が必要だと言っている。

脳機能学者ドクター苦米地氏から見れば「本物の秘伝の風水や気功」すべては「内部表現の書き換え」で、脳の機能に置き換えられる事であり、何もマスコミがもてはやす「不思議事」では無いと言う。

この記事をもとめてみて、さすが世界を駆け回る苦米地先生だとつくづく関心した次第である。男として世界中を飛び回り、フェラーリもヘリも所持してうらやましい限りだ・・・。



お奨めの著書

『残り97%の脳の使い方【セミナーCD付】 ~人生を思い通りにする!「脳と心」を洗う2つの方法~』(フォレスト出版 2008年)



～支部だより～

『全国削ろう会』

秦野支部 小泉 学

清々しい天候の下、2月20日（土）・21日（日）に「植樹（植える）育樹（育てる）活樹（活かす）」を大会コンセプトに掲げた「全国削ろう会」の第25回大会が秦野市にて開催された。春季に開催する「第61回全国植樹祭」を盛り上げるイベントでもある。

大会には約1万2千人が来場し、20日は職人による大鉋の実演、親子木工教室や鉋削り体験が行われた。

21日は大会のメインイベントである全国から255人の職人が参加した「鉋薄削り競技」が開催され、どれだけ薄く、長く、美しく削れるかを競った。当秦野支部は大会実行委員会から参画し、両日は建築相談のコーナーを担当した。大会自体が祭りのような要素もあり、あいにく当コーナーへの相談者数は少なかったが、職人さん達との対話や伝統の技に触れ、木の魅力を丹沢のヒノキの香りに包まれながら堪能することができるイベントであった。



10

お知らせ

相模原市 政令指定都市移行に伴う住所の表示変更について ～平成22年4月より相模原市が政令指定都市になります～

- ・建築士事務所登録の住所変更については登録課にて行ないます。変更届の提出は不要です。
- ・会員の登録情報については事務局にて変更致します。変更届の提出は不要です。

第1回 神事協「地引網」大会 開催案内

すでに開催案内がお手元に届いている事とは存じますが、湘南ブロックでは毎年恒例となっております地引網を神事協会員の親睦(家族及び所員含め)を深める為、開催する運びとなりました。とれたての生シラスが食べられるかも・・・。

皆様のふるってのご参加をお待ちしております。

記

日 時：平成22年4月24日（土） 9：30集合（網引上げ：10：00～）

集合場所：茅ヶ崎海岸漁協脇 網元・忠右エ門丸

会 費：2,000円／人（小学生以下は無料）

小雨の場合は開催致します。

詳しくは同封の「開催案内兼参加申込書」をご確認下さい。

第4回 神事協 歌壇・俳壇

【俳句】

春雨の川面に響く鴨の声

(川崎支部 雲休)

春嵐し黄砂降り来る街の屋根

(川崎支部 雲休)

桜咲き宴ではのんべの顔が咲く

(横浜支部 良酔)

ふきのとう庭に見つける春の幸

(横浜支部 良酔)

萌えいずるいたるところのいのちかな

(事務局 走友)

【短歌】

悠久の時をつむいで紀元節想いおこすぞ榎原の宮

(相模原文部 小林忠志)

憂国の想い忘れて敷島のこころ空蟬靖国の森

(相模原文部 小林忠志)

植えてから一度も咲かない我が庭のしだれ桜に蕾が見える

(横浜支部 良光)

川縁に見事なまでの存在で黄金に輝くああ菜の花や

(横浜支部 良光)

【川柳】

レジ紙に俳句一考朝スタバ

(川崎支部 雲休)

お食い初め当の本人眠り姫

(横浜支部 良酔)

座席取り今日もホームで徒競走

(事務局 走友)

※作品を募集中です。事務局（担当：野口）までお送りください。

平成21年度 第53回 通常総会(決算総会)開催のご案内

第53回通常総会（決算総会）を下記の通り開催致します。

会員各位におかれましては、ご出席を賜りますようお願い致します。

また、恒例の「賛助会フェア」も開催されますので、併せて足をお運びいただきますようお願い申し上げます。

記

日 時：平成22年5月25日（火）14：00～

会 場：ロイヤルホールヨコハマ

横浜市中区山下町90 TEL：045-641-1122

※議案書及びご案内書は5月上旬にお送りさせていただく予定です。

賛助会フェア 見学会に参加して

横浜支部 佐藤 光良

昨年暮れの賛助会フェアの企画を受けて、賛助会会員の会社訪問が3月18日午後に行われました。会社訪問といっても、行った先は賛助会の日立ビルシステムと日立製作所がタイアップして7年前に造った新しいスタイルの研究所で、その名は『日立ビルソリューションラボ』。設置の目的は、ビルの安心、省エネ、昇降機をテーマに、先進の技術や製品・サービスを、直にユーザーや関係者に体験・体感して貰うためとのこと。場所は「こち亀」で有名な常磐線葛飾区亀有駅から徒歩10分程ですが、横浜から直接バスで行ったために駅前にある「両さん」の銅像を見る事はできませんでした。

私が携わった仕事に、つい先日オープンしたばかりの戸塚駅西口の再開発地区内のビルがあり、そこに日立ELVを取り入れましたが、設計時にこのショールームに来ていればもっと色々なアイデアを実現できたのではと思うほどの新しい体験でした。今回の見学会は15名と寂しい参加者数でしたが、私自身行かなかった人は損をしたと思うと感じたほどの経験でした。床に切られたガラス窓を通して見たELVシャフトは、映画でしか見

たことが無い恐怖を感じましたし、その他最先端のビルのセキュリティシステムやELVでの緊急時に籠内のボタンを押すと話が出来東日本の管制センターの実際や、エスカレーターの最先端技術など、日立さんの総力を挙げたショールームを見る事が出来ました。より詳しいことを知りたい方は、0120 (70) 6663ソリューションラボにどうぞ。

賛助会太田会長も同道して下さり、和やかでいながらとても有意義な見学会でした。企画をして下さった日立ビルシステムの皆様始め関係者の方々に厚くお礼を申し上げます。次回賛助会フェアは5月25日の決算総会日に開催されます。会員の皆様は有意義な賛助会フェアに是非訪れてみてください。



12

賛助会 新入会員紹介

株式会社サンテクノス (担当: 瀧澤 徹)

平成21年7月入会

住所: 〒224-0001 横浜市都筑区中川3-38-1 TEL: 045-350-4470 FAX: 045-350-4471

「信頼・品質・技術への迫り」

私たちは、日々変化する多様なニーズに柔軟な発想と豊富な経験を生かした高度な技術でお応えし、同時にお客様の最高の満足と信頼ある検査に勤めています。

検査技術者資格の取得はもちろん、現場経験豊かな技術者を育成することによって社会貢献度の高い企業作りに取り組んでいます。事業内容: 建築構造物非破壊検査、超音波探傷試験、放射線透過試験、浸透探傷試験、磁粉探傷試験、過流探傷試験等。

特定非営利活動法人湘南マンション管理組合ネットワーク (担当: 二宮 博敏) 平成21年9月入会

住所: 〒251-0052 藤沢市藤沢110-4藤沢サービスセンター内 TEL: 0467-46-5571 FAX: 0467-46-5571

平成18年5月15日に神奈川県知事の認証を得て活動を開始いたしました。鎌倉市、藤沢市、茅ヶ崎市、平塚市、小田原市の5市を主な拠点活動としています。事業目的は湘南地区でのマンション管理組合の運営及び建物・設備の維持保全等に関する啓発・支援を行うことです。築年数の浅いマンションが比較的多いことから、大規模修繕工事の実施に向けた相談が多くあります。関係賛助会員各位のご支援をいただければ幸いです。

明和トラスト株式会社 (担当: 岸 健一)

平成21年10月入会

住所: 〒252-0805 藤沢市円行1-15-4 TEL: 0466-47-7127 FAX: 0466-47-7128

1) ネットワーク設備工事 2) 電話、周辺機器の販売・施工 3) 電気設備工事全般

高度情報化社会の動きの中において、柔軟な発想と確かな技術の向上をめざしています。情報通信のエキスパートとして時代のニーズに応えるべき社員一同、心を一つにして努力を重ねております。

構成社員: 職長教育13名、一種電気工事士10名、二種電気工事士3名、足場組立主任4名、玉掛け8名、陸上特殊無線一級4名。

挑戦・情熱・感謝を忘れない企業.....それが 明和トラスト

会員異動報告	
入会	
横浜支部	
(株)デザイン デボ 〒225-0024 横浜市青葉区市ヶ尾町1158-3 TEL.045-979-1420 FAX.045-979-1421	三浦 修
座間支部	
(有)桑田工務店一級建築士事務所 〒228-0021 座間市緑ヶ丘3-3-3 TEL.046-251-2363 FAX.046-251-2363	桑田 文久
退会	
横浜支部	
峰岡建築事務所	徳田 光登
変更	
横浜支部	
(株)大野建築事務所(戸塚・栄) (会員名変更)大野 浩昭 戸田建設(株)横浜支店一級建築士事務所(中) (会員名変更)松永 均 大和システム(株)横浜支店一級建築士事務所(港北) (会員名変更)大出 康雄	
川崎支部	
門田一級建築士事務所(多摩) (所在地変更)〒214-0039 川崎市多摩区栗谷2-3-6 TEL.044-959-1331 FAX.044-959-1332	
横須賀支部	
(有)桜井建築設計事務所 (所在地変更)〒238-0042 横須賀市汐入町5-22 K A Z設計一級建築士事務所 (所在地変更)〒238-0032 横須賀市平作5-25 (株)スタッフニ級建築士事務所 (事務所名変更)(株)スタッフ一級建築士事務所	
相模原支部	
谷津建設(株) (会員名・TEL変更)米原 正人 TEL.042-752-2038	
厚木支部	
(株)タイサク建築設計事務所 (事務所名・所在地変更)(株)タイサクー一級建築士事務所 〒243-0035 厚木市愛甲739-2 一級建築士事務所(株)エンラージ (会員名変更)石田 祐一	
鎌倉支部	
(株)池田工務店一級建築士事務所 (所在地変更)〒247-0061 鎌倉市台2-17-15	
休会	
相模原支部	
一級建築士事務所 聡設計 [休会期間:平成22年4月1日～平成24年3月31日]	生田 教一
会友異動報告	
入会	
横浜支部	
大野 昭治 〒244-0003 横浜市戸塚区戸塚町157 TEL.045-881-1123	
変更	
横浜支部	
東野 紀美男 (住所変更)〒252-0112 相模原市緑区若葉台5-7-2	
編集後記	日毎に春の足音が近づき青葉もスクスク育ってきて、三月も半月が過ぎました。本会広報情報委員になりもうすぐ1年経ち、ようやく委員会にも慣れ、各委員さんのお顔も覚えました。毎月の発行に合わせて原稿、頁割と月一回の各委員会は大変ですが、ゲラ刷りを見てそれが印刷発行されたものが事務所に届くとほっとします。(海老名支部 杉崎 雅治)

賛助会会員異動報告	
入会	
中央開発(株) 〒169-8612 東京都新宿区西早稲田3-13-5 TEL.03-3208-5252 FAX.03-3232-3625 【代表者】瀬古 一郎 【担当】濱 康之 【業種】地質調査・地盤解析・土木計画設計等	
退会	
(株)ARISSA	
変更	
タキロンマテックス(株) 東京支店 (所在地・TEL・FAX変更) 〒108-6030 東京都港区港南2-15-1 品川インターシティA棟 30F TEL.03-5781-8150 FAX.03-5781-8130	

会 勢 平成22年3月31日現在					
支部名	3月末日	現在	入会者	退会者	増減
横 浜	276	274	10	12	-2
川 崎	89	92	6	3	3
横 須 賀	60	57	2	5	-3
湘 南 三 浦	23	23	1	1	0
藤 沢	23	21	0	2	-2
鎌 倉	29	31	4	2	2
茅ヶ崎紫川	17	16	0	1	-1
平 塚	21	21	0	0	0
伊 勢 原	7	8	1	0	1
秦 野	17	17	0	0	0
大和綾瀬	20	22	3	1	2
厚 木	33	36	5	2	3
座 間	11	11	2	2	0
海 老 名	15	15	1	1	0
愛 川	9	8	0	1	-1
相 模 原	86	88	3	1	2
県 西	56	52	1	5	-4
合 計	792	792	39	39	0
賛助会員	55	65	16	6	10

4月の行事予定	
4月1日	建築物等調査・鑑定業務登録事務所必修研修会(追加開催 場所:神事協議会議室)
2日	企画業務委員会
6日	広報情報委員会
7日	総財務委員会
8日	設計監理指導委員会 神事協サロン(場所:神事協議会議室)
9日	倫理委員会
13日	建築物耐震改修評価特別委員会・専門員会
14日	技術調査委員会 賛助会事業計画検討会
15日	監査会
16日	「住・緑・家」運営特別委員会
19日	管理建築士講習(場所:パシフィコ横浜アネックスホール)
21日	「自立循環型住宅設計」講習会(場所:横浜市技能文化会館 2階多目的ホール)
22日	正副会長会 政研幹事会 理事会
24日	第1回 神事協・地引網大会(場所:茅ヶ崎西浜海岸)
26日	木造特別委員会
27日	広報情報委員会

かながわ 平成22年4月号(通号342号)

定価420円(消費税込)

発行 平成22年4月1日(毎月1日発行)
発行人 上原 伸一
発行所 社団法人 神奈川県建築士事務所協会
〒231-0032 横浜市中区不老町3-12
第3不二ビル2F
TEL. 045-228-0755
FAX. 045-212-3807
印刷所 株式会社 柏苑社

担 当 副 会 長 小林 忠志
: 広報情報委員長 佐藤 光良
: 広報情報副委員長 吉田 宣郎
: 広報情報委員 稲葉 勉
: 川島 良夫
: 遠藤 世一
: 小泉 厚
: 後藤かをり 杉崎 雅治
: 竹尾 秀一 新倉 良一
: 野口 友弘
: 事 務 局

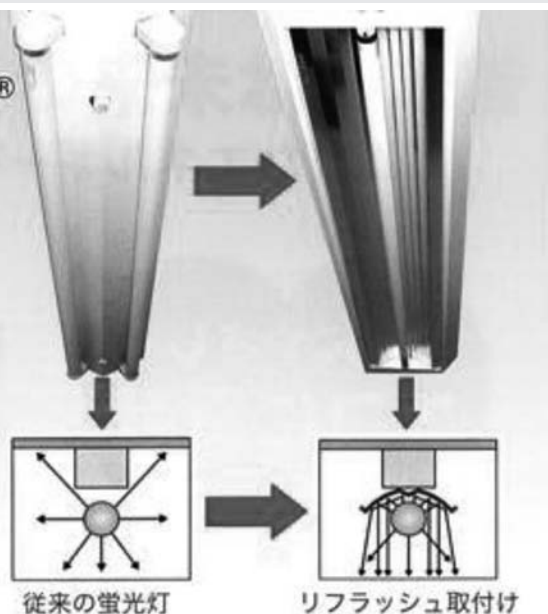
RELlight®

40W2 灯式器具を

50% 省エネ

一本で二本の明るさ！

一本で日本の明るさ！



従来の蛍光灯

リフラッシュ取付け

電気料金も削減でき導入企業にメリットのある証明器具です。

電力消費量 50%カットを実現

省エネ特性

- 明るさや環境を変えることなく消費電力50%削減
- 器具跡をカバーできるサイズでリニューアルに最適
- 天井面のデザインをシンプルに見せる薄型直付器具

株式会社アイゼット

SUPER ECO LIGHTING FIXTURE & SAVE THE ENERGY COMPANY

Meiwa Trust

明和トラスト株式会社(アイゼット 特約店)
〒252-0805 神奈川県藤沢市円行1-15-4
TEL: 0466-47-7127 FAX: 0466-47-7128

賛助会会員の皆様へ 以下大募集中です!!

- ◆ 賛助会ホームページ <http://navi.nikkori-house.jp/kanagawa-sanjokai/Default.aspx>
(「神奈川県建築士事務所協会HP」のトップページ→「神奈川賛助会」から入れます)
本会の先生方限定のお得な情報(会員様限定の割引価格などなど)をHPに掲載(掲載費無料)

- ◆ 会報『kanagawa』原稿

こちらのページを新商品、新工法、また企業のPRにご活用ください!! (掲載費無料)

お問い合わせは…担当: 広報委員 西村真一 (三洋工業株式会社)

TEL: 03-3685-3452 Mail: shi-nishimura@sanyo-industries.co.jp